

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-28	小学校	算数科	算数	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 106	しょうがくさんすう 1		

1. 編修の基本方針

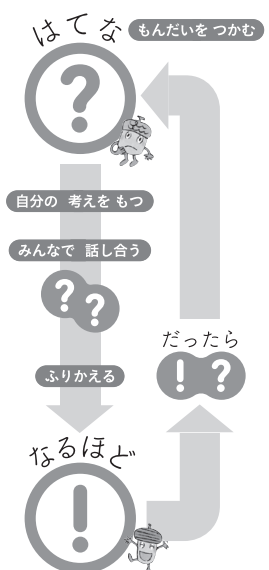
社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書は、教育基本法が掲げる教育の目的及び目標の実現に向けて、以下の基本方針のもとに執筆・編修にあたりました。

問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる

- 1** 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書
- 2** 思考力・判断力・表現力の育成のために
数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書
- 3** 生きて働く知識・技能の習得のために
学びと学びを系統的につなげる教科書
- 4** 学びに向かう力、人間性等の涵養のために
学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書



1

数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて 子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書

第1学年では、スタートカリキュラムに配慮しながら、まずは子どもが本来もっている主体性を伸ばしていきます。そして、対話的な学びを通して自己の考えを広げ深めていけるようにしていき、学年の後半では、問題解決的な学習にも取り組めるようにします。

スタートカリキュラム

算数の入門期は、子どもの気づきや好奇心をきっかけに学習をスタートします。生活科の活動とも関連させながら数や形への興味を高め、主体的に学ぶ態度を育てていきます。



▲ p.8-9

学び合い

友だちと一緒に話し合ったり、ものを作ったり、体で表現したり……。第1学年では、楽しい活動をふんだんに取り入れながら算数を学びます。友だちの考えを聞き、「なぜ」「どうして」と問いをもつことで、自分だけでは気づけなかった見方・考え方に触れることができ、学びは一層豊かなものになります。



▲ p.53



▲ p.90

問題発見・解決

主体的に考え、学び合う力をつけてきた子どもたちには、問題発見・解決の数学的活動のプロセスも経験させていきます。問いをもち、友だちとともに追究し、振り返ってよりよいものを見いだすことで、学びは深まり、新たな問いへとつながります。

さんすうの すずめかた

- どんな もんだいかな
- じぶんで かんがえる
- みんなで はなしあう
- ふりかえる
- たしかめる

どんな もんだいかな

1 みなさんは、まっばつくりを 9こ 見つけました。4こ もらいました。ぜんぶで なんこに なったでしょうか。

しき

じぶんで かんがえる

10こより おおくなりそうだよ。

▶ けいさんの しかたを かんがえましょう。

いさ かんたんに こたえが わかる ほうほうは ないのかな。

▲ p.105

みんなで はなしあう

4を 1と 3に わけます。

9と 1で 10。

10と 3で こたえは 13です。

9 + 4 =

どうして 4を 1と 3に わけたのかな。

みなと ぼる かえで

10の まとまりに すると、けいさん しやすく なるから〜

ともだちの ノートを見て みよう

かえで

9に4のうちの1をたして	9+1=10
10のまをくりをつくら	10+3=13
10と3で9。	15から
9+4=13	9+4=13

みなと

9+4	10
9+1=10	3
10+3=13	
9+4=13	

▲ p.106-107

ふりかえる

▶ ブロックを うごかしながら、9+4の けいさんの しかたを いいましょう。

◆ 9+4の けいさんの しかた

- ① 9はあと 1で 10。
- ② 4を 1と 3に わける。
- ③ 9と 1で 10。
- ④ 10と 3で 13。

9+1=10
10+3=13

たしかめる

1 9+3の けいさん を しましょう。

ほかに はずでも できるかな。

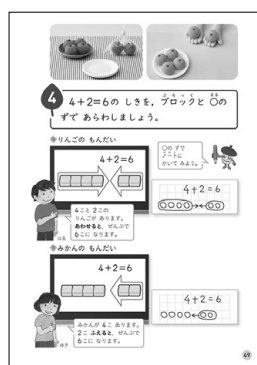
2

思考力・判断力・表現力の育成のために 数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書

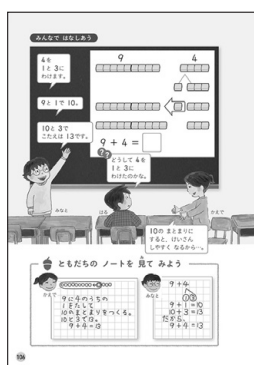
数学的な見方・考え方は、さまざまな場面で繰り返し用いることで培われていきます。第1学年では、ブロックの操作や、図、式、言葉を結びつけて考え説明する活動を豊富に取り入れ、友だちと協力してよりよい考えに高めていく過程を通して、思考力・判断力・表現力を育成していきます。

具体物や図、式、言葉

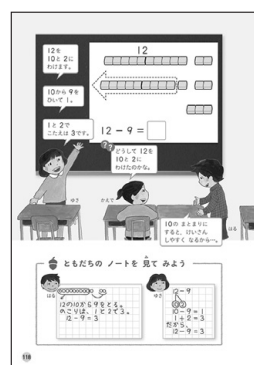
たし算の計算のしかたを考え説明するとき用いた**表現**を、ひき算や、繰り上がり・繰り下がりのある計算でも**繰り返し用いる**ことで、共通点や相違点が捉えられるようになり、見方・考え方が成長していきます。



▲ p.49



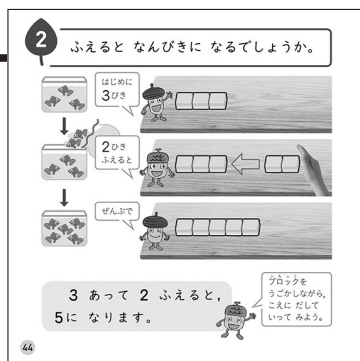
▲ p.106



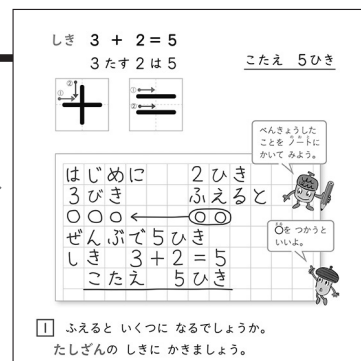
▲ p.118

ノート指導

ノートは、**思考力や表現力を高める**うえで欠かせないツールです。また、**具体物で考えたこともノートに残しておけば**、あとで学習が振り返りやすくなります。



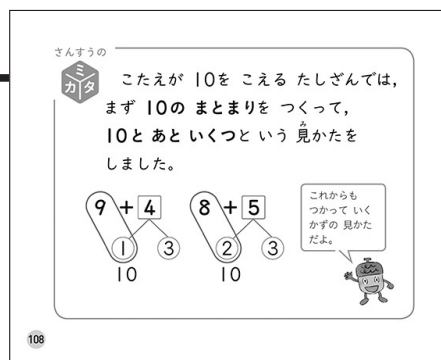
▲ p.44



▲ p.45

算数のミカタ

「算数のミカタ」は、**領域を貫く数学的な見方**をクローズアップするコーナーです。第1学年では、「10のまとまり」の見方を取り上げ、ひき算や、第2学年以降の計算につなげていきます。



▲ p.108

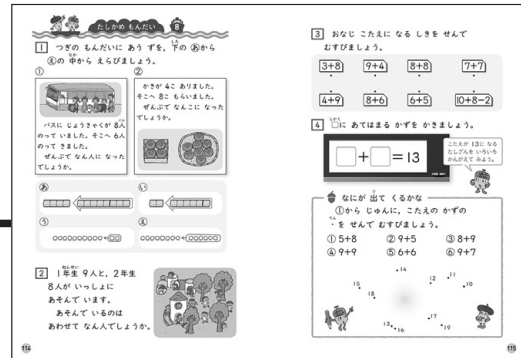
3

生きて働く知識・技能の習得のために 学びと学びを系統的につなげる教科書

基礎的・基本的な知識・技能を着実に積み上げるとともに、それらを繰り返し使い、関連づけていくことで、生きて働く知識にしていきます。

しっかり練習

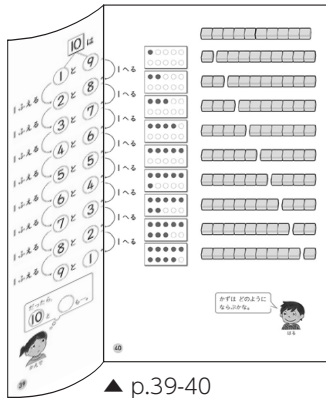
単元のまとめりごとの「たしかめもんだい」では、文章題、図を使った問題、数や図形の感覚を育てる問題なども扱います。



▲ p.114-115

繰り返し使う

折込で、10の合成・分解を繰り返し確認できるようにしています。



▲ p.39-40

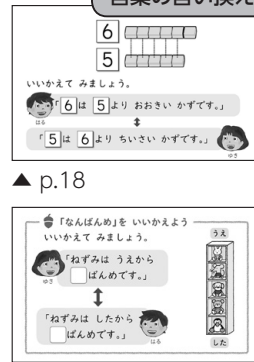
時計の学習を早期に扱い、学校生活を通して定着を図れるようにしています。



▲ p.29

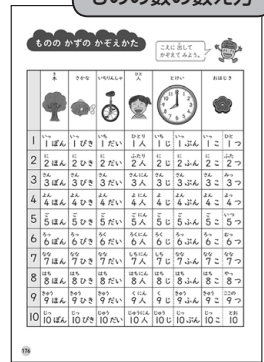
算数の言葉や、助数詞に慣れて、学習に生かしていきます。

言葉の言い換え



▲ p.18
▲ p.30

ものの数の数え方



▲ p.176

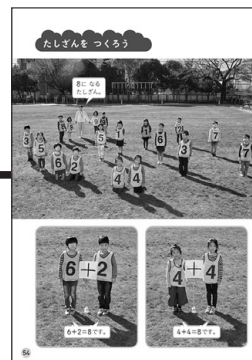
4

学びに向かう力、人間性等の涵養のために 学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書

学習したことを活用する場面を設け、学んだことのよさを感じられるようにします。

単元末の楽しい活動

単元の終わりには、友だちと一緒に学習したことを使って楽しく活動したり、身のまわりから算数を見つけたります。



▲ p.54



▲ p.85

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
■ なかよし あつまれ	新しい友だちとの出会いの場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.1～9
1 いくつか	学校生活の中で友だちと共に学び活動する場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.10～23
2 なんばんめ	学校生活の中で友だちと共に学び活動する場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.27
3 いま なんじ	学校生活の中で時刻を意識できるようにすることで、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.28～29
4 いくつといくつ	友だちと協力して数を表す活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.31～41
5 ぜんぶでいくつ	身のまわりのさまざまな場面から題材を選定することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p.43～51
6 のこりはいくつ	身のまわりのさまざまな場面から題材を選定することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p.57～63
7 どれだけ おおい	多様なノートの書き方を示すことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.68
8 10より 大きい かず	数を数える対象として、ごみ出しカレンダーを示すことで、ごみの分別への関心を高め、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	p.85
9 かずを せいりして	生活科で育てている朝顔の花の数を題材とすることで、生命を尊び、自然を大切にすることを意識する態度を養うようにしました。(第4号)	p.86～87
10 かたちあそび	箱を積んで町を作る活動を通して、自分が住む町への関心を高め、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.90～91
11 3つの かずの たしざん、ひきざん	問題に合わせて、友だちと場面を表現する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.98～99
12 たしざん	生活科の活動との関連を図り、あきさがしの場面を題材とすることで、生命を尊び、自然を大切にすることを意識する態度を養うようにしました。(第4号)	p.104～105
13 ひきざん	幼稚園の子どもたちを招待して一緒に遊ぶ場面を題材とすることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.116～117
14 くらべかた	大掃除の場面を題材とすることで、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	p.130
15 大きな かず	育てた朝顔の種を、来年の1年生にあげるという場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.143
16 なんじなんぷん	学校生活の中で時刻を意識できるようにすることで、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.158～159
17 どんな しきに なるかな	季節や伝統行事を意識した題材を選定することで、伝統と文化を尊重する態度を養うようにしました。(第5号)	p.165
18 かたちづくり	身のまわりからさまざまな形を見つけたり、作ったりする活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.170～171
巻頭・巻末	旧金毘羅大芝居金丸座や国立天文台水沢などの写真から算数を見つける場面を設け、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	表3

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

○地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-28	小学校	算数科	算数	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 106	しょうがくさんすう 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 数学的活動の充実と、 主体的・対話的で深い学びの実現

主体性を伸ばす

- 日常生活や学校の場面で、子ども自身が数や形に気づくこと、また、体験的な活動を通して問題を発見することを大切にしています。第1学年の数学的活動では、子どもが本来もっている主体性を伸ばしながら算数の学習を進めていきます。(p.2～9, p.22～23等)

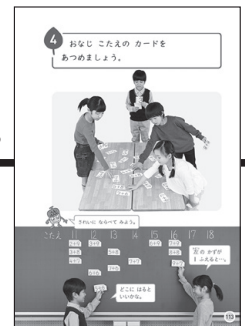


▲ p.3-4

友だちと一緒に学ぶ

- ペアやグループの活動、みんなで話し合う活動をふんだんに取り入れています。自分の考えを伝えたり、友だちの意見を聞いたりすることで、自分だけでは気づかなかった見方・考え方に触れることができます。(p.17, p.49, p.112～113等)

▶ p.113



学びを深める

- 単元の学習の終わりには、学んだことを使ってゲームをしたり、身のまわりから算数を見つけたりします。問題発見・解決、そして活用といった一連の活動を繰り返すことにより、算数を学ぶ楽しさやよさが実感できるようになります。(p.27, p.54, p.156等)



▲ p.27

数学的活動

- 学年の後半では、問題発見・解決の数学的活動のプロセスを一層意識づけていきます。“問い^{はてな}?”をもち、友だちとともに追究して“問い^{はるほど}?”を深め、振り返ってよりよい“見方・考え方^{はるほど}!”を見いだすことで、学びは深まり、新たな“問い^{はるほど}!”へとつながります。(p.104～107等)

2

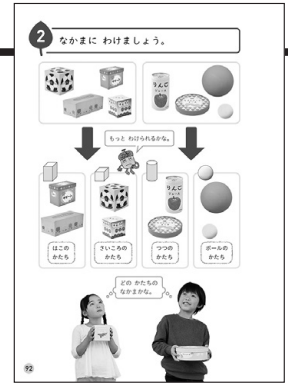
思考力・判断力・表現力の育成

数学的な見方・考え方の素地

- 第1学年では、数学的な見方・考え方を育てるうえで、**ものごとを比べて言葉で表す**ことを大切にします。例えば、数や量を比べることで単位の見方が芽生え、形を比べることで構成要素に着目する見方が育ちます。(p.18, p.92, p.129～131等)



▲ p.18



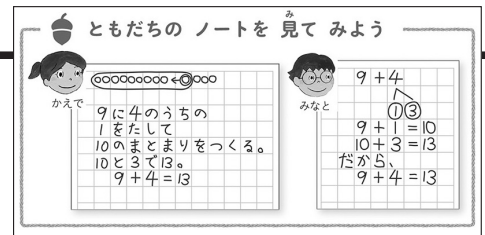
▲ p.92

具体物や図、式、言葉

- たし算の計算のしかたを考え説明するときに用いた**表現**を、ひき算や、繰り上がり・繰り下がりのある計算でも**繰り返し用いる**ことで、共通点や相違点が捉えられるようになり、見方・考え方が成長していきます。(p.49, p.106, p.118等)

ノート指導

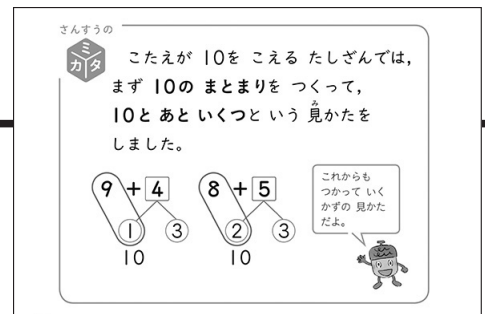
- 具体物で行った操作や、言葉で表現したことをノートに表すことで、思考力や表現力が養われるとともに、学びの記録にもなっています。計算単元を中心に、**継続的にノートのとり方を示し**、1年生のうちにしっかり定着するようにしています。(p.45, p.68, p.106等)



▲ p.106

算数のミカタ

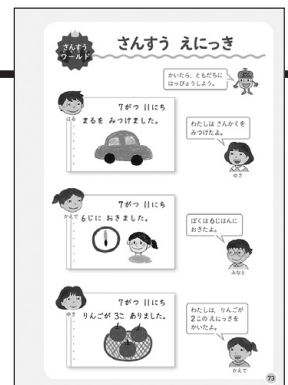
- 「算数のミカタ」は、**領域を貫く数学的な見方**をクローズアップするコーナーです。第1学年では、「10のまとまり」の見方を取り上げ、ひき算や、第2学年以降の計算につなげていきます。(p.108)



▲ p.108

算数の目で捉える

- 身のまわりのものを、**数や量、形などに着目して算数の目で捉える**ことが、算数を活用する力を育てる第一歩です。算数を見つけて絵日記にする活動や、学校の場面から問題づくりをする活動などを充実させて、算数を実生活のさまざまな場面に活用する力を培っていきます。(p.73, p.96～97等)



▲ p.73

3

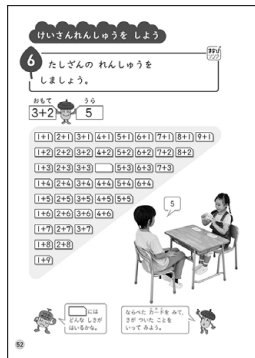
生きて働く知識・技能の習得

基礎的・基本的な知識・技能

- 第1学年では反復練習が大切です。計算単元や数感覚を育成する場面などでは、**ゲームやパズルを取り入れて楽しく習熟**できるようにしています。また、各単元の内容は、活動だけで終わらせず、「たしかめもんだい」でしっかり定着が図れるようにしています。(p.41, p.52, p.112～113等)



▲ p.41



▲ p.52



▲ p.112-113



10の合成・分解

- 10の合成・分解は、繰り上がりや繰り下がりのある計算でも使う重要な学習内容です。みんなが自信をもっていえるようにするために、**折込を使って繰り返し参照**できるようにしています。(p.39～40)

ものの数の数え方

- 具体物を数えたり、文章題の答えを表したりするときは、**単位をつける**ことが大切です。**よく使う助数詞を巻末にまとめて、参照しやすく**しています。(p.22～23, p.176)

時計を早期に扱い定着を図る

- 時計の習熟には個人差があり、**継続的に指導**する必要があります。学校生活の中で時計を使っていけるように、**時計の指導を早期(5月頃)に位置づけて**います。(p.28～29)

4

学びに向かう力、人間性等の涵養

算数の楽しさ

- 学びに向かう力を育てるうえで、第1学年で**いちばん大切にしたいことは、算数を楽しむこと**です。身近な場面から学習のきっかけをつくり、単元の終わりには、**友だちと一緒に学習したことを使って楽しく活動したり、身のまわりから算数を見つけたり**します。

5

その他の配慮事項

幼小の接続

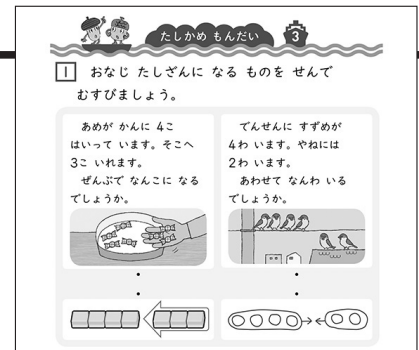
- 算数の入門期は、数や形についての子どもの気づきや好奇心をきっかけに学習をスタートします。スタートカリキュラムに配慮し、学校生活や生活科の活動と関連させて、自信や意欲を高めながら活動を広げ、主体的に学ぶ態度を育てていきます。(p.6～9, p.22～23等)

他教科等との関連

- 1年間を通じて、他教科や学校の活動と関連した場面を題材として用いるように配慮し、**必要感をもって学習に取り組めるように**しています。例えば、「たしざん」の導入では、生活科の活動と関連させて、「あきさがし」の場面を題材にしています。(p.104～105等)
- 友だちと学び合い、互いのよさを認め合うなど、**道徳科との関連**を図っています。また、例えば、「ひきざん」の導入では、幼稚園の子どもたちを招待して「あきまつり」をする場面を題材にしています。(p.116～117等)


特別支援・ユニバーサルデザイン

- 第1学年の配慮として、文章題について、「条件1」「条件2」「求答事項」のように**問題文を短文に区切って提示**しています。問題の構造が捉えやすくなり、言葉、図、式を関連づけることが容易になります。また、イラストや写真を工夫して、問題場面の状況を想起しやすくしています。
- カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用により、**すべての児童にとって学びやすい紙面づくり**に配慮しています。



▲ p.55

コンピュータなどの活用

-  を付けたところでは、**デジタルコンテンツ**を活用して効果的に学習ができるようにしています。(p.28「とけい」、p.112「たしざんカード」等)

教科書の構成

なかよしあつまれ (入門期の活動)	単元				活動 (学んだことの活用)	たしかめもんだい	算数ワールド (特設教材)	学年のまとめ	ものかずのかぞえかた (助数詞の一覧)
	問題	練習	問題	練習					

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
■ なかよし あつまれ	A (1) ア (ア) B (1) ア (ア) B (1) ア (イ) B (1) イ (ア)	p.1～7 p.8～9 p.8～9 p.8～9	4
1 いくつか	A (1) ア (イ) A (1) ア (ウ)	p.10～23 p.18～19	9
2 なんばんめ	A (1) ア (イ) A (1) ア (ウ) B (1) ア (ウ)	p.24～27 p.24～27 p.24～27	2
3 いま なんじ	C (2) ア (ア) C (2) イ (ア)	p.28～29 p.28～29	1
4 いくつと いくつ	A (1) ア (エ)	p.31～41	7
5 ぜんぶで いくつ	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) ア (ウ) A (2) イ (ア)	p.43～51 p.43～51 p.43～54 p.43～54	10
6 のこりは いくつ	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) ア (ウ) A (2) イ (ア)	p.57～63 p.57～63 p.57～65 p.57～65	8
7 どれだけ おおい	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) イ (ア)	p.68～70 p.68～70 p.68～70	3
8 10より 大きい かず	A (1) ア (ウ) A (1) ア (エ) A (1) ア (オ) A (1) ア (ク) A (1) イ (ア) A (2) ア (エ)	p.80～81 p.79～81 p.74～85 p.78 p.74～85 p.83～84	10
9 かずを せいりして	D (1) ア (ア) D (1) イ (ア)	p.86～89 p.86～89	2
10 かたちあそび	B (1) ア (ア) B (1) ア (イ) B (1) イ (ア)	p.90～94 p.90～93 p.90～94	5
11 3つの かずの たしざん、ひきざん	A (1) ア (エ) A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) イ (ア)	p.102 p.98～102 p.98～102 p.98～102	4
12 たしざん	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) ア (ウ) A (2) イ (ア)	p.104～111 p.104～111 p.104～113 p.104～113	10
13 ひきざん	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) ア (ウ) A (2) イ (ア)	p.116～123 p.116～123 p.116～125 p.116～125	10
14 くらべかた	C (1) ア (ア) C (1) ア (イ) C (1) イ (ア)	p.128～131, p.134～135, p.137 p.132～133, p.136～138 p.128～138	9
15 大きな かず	A (1) ア (ウ) A (1) ア (オ) A (1) ア (カ) A (1) ア (キ) A (1) ア (ク) A (1) イ (ア) A (2) ア (エ)	p.149～153 p.142～147 p.147～153 p.142～155 p.142～146 p.142～156 p.154～155	11
16 なんじなんぷん	C (2) ア (ア) C (2) イ (ア)	p.158～160 p.158～160	3
■ おなじ かずずつに わけよう	A (1) ア (ク)	p.161	1
17 どんな しきに なるかな	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) イ (ア)	p.162～165 p.162～165 p.162～165	4
18 かたちづくり	B (1) ア (ア) B (1) ア (イ) B (1) イ (ア)	p.168～171 p.168～171 p.168～171	5
■ どこに あるかな	B (1) ア (ウ)	p.172	1
		計	119

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-28	小学校	算数科	算数	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 106	しょうがくさんすう 1		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	10をひくひきざん	1	A (2) ア (エ) 簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知る。 上記に関連して、 $17-10$ の計算の仕方を考えることを通して、減法についての理解を深める。	0.25
89	かずのおおさをくらべよう	1	D (1) ア (ア) ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすること。 上記に関連して、数の大小を比べる活動を通して、○などを並べて数の大きさを表したグラフに表すことができることを知る。	0.5
153	さんすうメモ	1	A (1) ア (カ) 簡単な場合について、3位数の表し方を知ること。 上記に関連して、百の位を知ること、十進位取り記数法の原理について理解を深める。	0.25
174	大きな かずの たしざん	1	A (2) ア (エ) 簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知る。 上記に関連して、 $34+20$ の計算の仕方を考えることを通して、加法についての理解を深める。	0.5
合 計				1.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容